



2019年4月26日

各位

会社名 富士興産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 金丸 勇一
 (コード番号 5009 東証一部)
 問合せ先 取締役執行役員経理部長 松崎 博文
 (TEL. 03-6859-2050)

2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月15日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	64,500	650	750	550	62.94
今回修正予想 (B)	61,063	353	418	△132	△15.37
増減額 (B-A)	△3,436	△296	△331	△682	
増減率 (%)	△5.3	△45.6	△44.2	—	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	56,834	699	774	733	83.92

2. 修正の理由

当期におきましては、当社グループのコア事業である石油事業において、冬場の気温が例年に比べ大幅に上昇したことから、当社の主力である暖房用石油製品の需要が軟化し、これを最大の要因として、販売数量の減少と採算の悪化を招きました。また、販売費(支払運賃)等の増加も重なったことから、損益面では、非常に厳しい状況が続きました。この結果、当期の売上高・利益はともに計画(2018年5月15日公表値)を下回ることとなりました。

更に、本日同時に開示しております「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり環境対策引当金繰入額598百万円を特別損失に計上したことから親会社株主に帰属する当期純損益は、132百万円の赤字の見込みとなりました。

なお、2019年3月期の期末配当金の予想につきましては、当初予想を変更せず、1株当たり16円といたしました。

(注) 上記の予想はあくまでも本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上